



Weekly Report



クラブ会長テーマ 理想は広く大きく…行動は地道にしっかりと

2005-4-20 第695回例会 NO. 15-38 2005-4-27 発行

◎司会 SAA委員会 田中 實

◎点鐘 会長 菊池 敏

◎ロータリーソング『それでこそロータリー』
ソングリーダー 吉沢 洋景

◎お客様紹介 会長 菊池 敏

- ・学校法人駒沢学園 相談役 伊藤 文雄 様
- ・多摩東グループ ガバナー補佐 馬場 輝彦 様
- ・ " グループ幹事 野村 俊明 様
- ・岡山西南RC 椎原 裕二 様

◎会務報告 会長 菊池 敏

- ①4月8日、東京西RC50周年記念式典があり、幹事と共に出席して来ました。
- ②4月13日、高輪プリンスホテルで会長会があり、出席してきました。

◎幹事報告 副幹事 小城 章員

- ①今年度の委員会活動報告書の提出期限は、本日例会終了時です。未提出の委員長は忘れなく。
- ②ロータリーレートは、5月より¥108になります。
- ③他クラブ例会変更
東京飛火野RCがあります。詳しくは事務局で確認してください。

④本日の回覧
訃報 東京目黒RC 清家 清氏

◎次年度会務報告 次年度会長 北村 幸彦

- ①本日、第2回被選クラブ協議会を、午後6時から京王プラザホテル3階で行います。出席をお願いいたします。
- ②本日、「会員満足度アンケート」を配布してあります。これは、クラブ委員長の手引きの中にありますが、15年経年したクラブの会員の意識調査をしてみたいと思っています。匿名ですので、記入して事務局に提出願います。次年度の参考にしたいと思います

◎ご挨拶

多摩東グループガバナー補佐 馬場 輝彦 様
グループ幹事 野村 俊明 様



【委員会報告】

◎出席報告 出席委員会 四條 公康

- ・会員総数 43名
- ・出席義務者数 40名(出席免除者3名)
- ・出席者数 27名
- ・欠席者数 13名(事前MU3名)
- ・出席率 75.00%
- ・欠席者: 足立潤三郎、大松 誠二、藤原 正範、
桧垣 昭、平野 行廣、小林 正、
小泉 博、村上 久、杉野志保子、
田島真由美、高野 範城、津守 弘範、
御船 哲
- ・補填MU: 大松 誠二 4/6 被選理事会
田島真由美 4/6 理事会
村上 久 4/14 東京稲城RC

4/6 最終訂正出席率 75%

東京多摩グリーンロータリークラブ事務局

東京都多摩市落合1-43 京王プラザホテル多摩561号
TEL 042(372)6463 FAX 042(372)6491
E-mail tamagrc@cello.ocn.ne.jp

【例会場】京王プラザホテル多摩・たまつばき4階

【例会日】●毎週水曜日12:30 ●月の最終例会18:30

【会長】菊池 敏 【幹事】田島真由美

【クラブ会報委員長】小田泰機 【副委員長】加藤喜三郎

【委員】田中 實・小城章員・足立潤三郎・杉野志保子・小泉 博・内田 啓

◎ニコニコBOX 親睦活動委員会 萩生田 政由

学校法人駒沢学園 相談役 伊藤 文雄 様

ニコニコを頂きました。ありがとうございました。

菊池 敏 ガバナー補佐、グループ幹事、ようこそ。雨の中ご苦労様です。

” 伊藤様、卓話楽しみにしております。

高木 淳光 4月28日にR I設立100周年記念の記念切手が販売されます。好評予約受付中！！

澄川 昇 会場が変更になり、どきまぎしています。

山川 哲弥 お花見ツアーお世話になりました。

関岡 俊二 伊藤様、卓話宜しくお願ひします。

遠藤 二郎 伊藤先生、卓話楽しみに出席しました。

藤本 吉文 ガバナー補佐 馬場様、グループ幹事 野村様、今日のご苦労様です。

赤尾 恭雄 馬場ガバナー補佐、野村グループ幹事、ようこそ。あと2ヶ月頑張ってください。

北村 幸彦 馬場様、野村様、ようこそ。伊藤様、卓話楽しみにしております。

萩生田政由 お久しぶりの雨で木々達も大変喜んでますと報告がありました。

親睦委員 旅行車中飲み物代のおつりです。

本日の合計¥21,352 (累計¥792,083)

◎その他委員会報告

15周年記念事業実行委員会 委員長 宮本 誠

例会後、前に指名した実施委員会委員長の会議を行います。

遠藤さん 北村さん 菊池さん 関岡さん

大松さん 由井さん 高木さん 宮村さん

以上の方のご出席をお願いします。

◎親睦活動委員会 委員長 小坂 一郎

移動例会への参加、ありがとうございました。

桜の花とベゴニアの花の両方が観賞できました。

◎卓話『教育に思う』

学校法人 駒沢学園 相談役 伊藤 文雄 様

古い話で恐縮ですが、今から42年前の、1963年11月17日という日は、私にとっては大変な記念日でございます。

このように話し出され、ご自身で運転している車が、六郷の踏み切りで、警手のミスによってJRの京浜東北線の電車と衝突事故を起し、入院された体験、更に、入院している病室に救急患者が搬送され、その患者はその夜亡くなってしま

九死に一生を得たご自身と比較し、生命のはかなさを感じた、と話された。



この命は拾った命なんだから、大事に使わなければいけない、一度しかない人生を、世の中に役立たせるような生き方をしなければ、亡くなった方に申し訳ないと思うようになりました。

世のために尽くすといっても、私は教員ですから、教員をただ一生懸命にやるしかない。

当時は、公立学校に行けない生徒が沢山おまして、そういう生徒が私立学校に来る、受け皿の地位に甘んじていた時代でした。親は、自分が学歴が無いので、子供にはせめて高等学校を出してやりたい、そういう気持ちで学校へよこしますから、そういう親の気持ちは、痛いほどよく判りますので、これに応えなければならぬということで、何とか子供たちに自信を持たせてやりたい、それにはどうしたらいいか？ということで、子供を育てるということを、一生懸命やってきました。

その頃の子供の家庭は、10パーセントくらいは両親がいないとか、片親がいない状態でしたが、そういう家庭に育った子供の方が、社会人になってから、かなりいろいろなことを、積極的にやってバイタリティがあるということを感じています。

今日直面している、日本のいろいろな問題の中で、一番根本的で、元凶といえるものは、『少子化』だと思います。少子化を止めるということ、何故早く政府はやらないんだろうか。やっちはいるんでしょが、もっと抜本的なことをやらないと、いけないではないか。もっと、少子化を止める政策を論議しなければいけないのではないかと。

(未掲載部分は、事務局保管の録音テープをご利用ください。)

◎点鐘

会長 菊池 敏

(今週の担当 小城 章員)